

【最優秀賞】

私たちでつくる「明るい社会」

三春町立三春中学校 三年 渡辺 紗季

「闇バイトに応募した十六歳の少年が逮捕されました。」
このニュースを聞いて私は驚きました。闇バイトに、私と同じ年代の人が参加していたのです。

「闇バイト」とは、一般のアルバイトに偽装してSNSなどで人を集め、犯罪行為をさせたりしたりすることです。私はこれまで、闇バイトのニュースを目にしても、「強盗が家に入ってきたらどうしよう。」など、被害に遭うことだけを怖がっていました。しかし、このニュースによって、闇バイトによる被害に遭う危険と、闇バイトにうっかり応募してしまつて自分が加害者になってしまう危険と、そのどちらもが自分にあることがわかりました。闇バイトが一気に身近なものになった気がして、不安になりました。では、その闇バイトに対し、どう対策すれば良いのでしょうか。私はまず、闇バイトの被害に遭わないためにできることについて考えました。

闇バイトによる被害は種類がたくさんあります。その中

でも一番身近で被害に遭いやすいのが、不審な電話がかかってくるものだと思います。中学生の私たちはクレジットカードを持っておらず、銀行に行く機会がないので、被害に遭う可能性は低いです。しかし、不審な電話の中には、名前や住所などの個人情報聞き出すものがあります。大人でも子供でも、それに答えてしまったら個人情報が悪用されてしまいます。

そういった被害を防ぐために、私は知らない番号からかかってきた電話には出ないようにしています。スマートフォンの場合、電話のかかってきた画面を写真に撮っておき、番号を検索して怪しい番号でないかを確認めます。何度も同じ番号からかかってきたら、その番号を着信拒否に設定するという方法もあると思います。

次に、自分が闇バイトに加担しないようにするために気をつけることについて考えました。

私は高校生になったらアルバイトをしたいと思つていますが、SNSで見つけたアルバイトには応募しないようにします。なぜなら、闇バイトは一般のアルバイトに偽装し、SNSで人を集めていることが多いからです。以前、動画アプリの広告に、「楽に稼げる」「ホワイト案件」と書かれているのを見たことがありました。そこには仕事の内容が一切書かれていなかったのです、とても怪しいと思いました。アルバイトや仕事を探すときは、専用のアプリや、

コンビニやスーパーマーケットなどのよく知っているお店にある広告などを使い、詳細を確認することが大切だと感じました。

闇バイトは怖いものなのに、未成年の私たちのすぐ近くに存在します。そんな今、自分が被害者にも加害者にもならないように、今後も対策を探していくことが大切だと考えます。

世の中には闇バイト以外にも多くの犯罪があります。全ての犯罪に対策していくことは難しいですが、自分の身近にある犯罪を見つけ「気をつけよう」と意識することから始めたいです。また、ニュースに取り上げられていて、ことについて家族と話すなど、日頃から犯罪について考える時間を持つことも必要だと感じます。犯罪は自分とは無関係と思うのではなく、犯罪に対する対策を考えたり、犯罪が起きてしまう原因を探っていくと、個人で、そして社会全体で犯罪と向き合うことが、「明るい社会」をつくる第一歩なのではないでしょうか。